

# 農業



平成27年10月号

会誌 No. 1604

## 目次

### 巻頭言

農学教育のこれから……………大杉 立 3

### 論壇

農村自営業者の元気と知恵が農業の源泉……………大泉 一貫 4

－横井時敬，東畑精一，そして金澤夏樹－

### 先進的農業経営研究会

東北地域の大規模水田作経営の事例…………… 6

－わが国農業を先導する先進的農業経営研究会（第7回，現地調査）－

話題提供

米と野菜，加工品の複合経営

……………（有）おっとちグリーンステーション 柳渕 淳一 6

質疑応答…………… 15

### 農事功績者座談会

鉢花（アジサイ・シクラメン）専作経営…………… 27

私の経営と農業への思い……………小内 敬一 27

現地指導者のコメント……………清水 良泰 33

意見交換…………… 34

### 表彰農家訪問

独自技術による完熟マンゴー・トマト生産と

直売所運営による複合経営を展開……………平岩 進 46

－鹿児島県大崎町に安田静男さんを訪ねて－

**農業・農村の現場から**

ここで生きる楽しさを伝えたい……………平口 嘉典 56

－岩手県陸前高田市 今泉復興農事組合の取り組み－

**世界の農業は今**

ベトナムの家畜保険……………窪田さと子・耕野拓一 62

**私の経営と志**

農業の可能性……………三浦 正之 67

**農政情報**

大日本農会だより……………70

**ミニ情報**

「農業の有する多面的機能」……………55

「野生鳥獣害」……………61

**表紙写真説明**

**加工用バレイシヨの収穫（北海道河西郡芽室町）**

バレイシヨは、北海道畑輪作において中核をなす作物のひとつである。8月下旬から10月上旬にかけて、北海道ではそのバレイシヨが収穫最盛期を迎えている。

十勝平野の中西部に位置し、西に日高山脈を望む芽室町は、作付面積3千haを超す国内有数のバレイシヨ産地である。生産されるバレイシヨは、ポテトチップスやコロケ、フレンチフライといった加工用のほかに、生食用、澱粉原料用、種子用などさまざまな用途に出荷されている。また、それら用途に合わせ、14品種ものバレイシヨが栽培されている。

近年、国内のバレイシヨ作付面積は、その労働負担から減少傾向にある。こうしたなか、芽室町では、広大なバレイシヨ圃場を効率的に収穫するため、高速で作業可能なオフセットハーベスタが普及しつつある。また、それら収穫機を所有する20戸の生産者が受託組合を構成し、町内生産者の収穫作業を受託するしくみを構築している。こうした地域ぐるみの生産体制により、高品質なバレイシヨ生産の維持拡大が実現されている。

（写真：芽室町農業協同組合，文：（国研法）農研機構北海道農業研究センター 若林 勝史氏）